

インターバンクの声（2016 年 5 月 6 日）

ディーラー稼業にとっては、今も昔もゴールデン・ウィークや夏休みだからといって簡単に休みが取れないことを痛感させられるのがこの時期だ。しかも取れたとしても海外のディーラーのように 3 週間から一ヵ月と言うわけには行かず、多くの日本のディーラーは取れても数日、長くても 2 週間が限界だ。むしろ近年は日本が祝日でも休日出勤する金融機関も増え、個人投資家との取引が中心となる FX 会社のディーラーは基本的に一年中臨戦態勢を敷いている。どうせゴールデン・ウィークやお盆休みに休暇が取れたとしても、どこへ行っても混雑しているし、こうした期間の旅行費用も高く、閑散期に代休を取れるので良しとしようといつも自分を納得させて来たものだ。仮に今年この時期に休みが取れていたとしても、ドル円が 100 円方向に向かうかどうかの瀬戸際の 105 円台まで円高が進んだ状況では、ゆっくり出来るような状況でもなかったはずだ。急激に円高が進む相場に対し、執拗に為替介入の可能性に言及する麻生財務相だが、昨日は欧州歴訪中の安倍首相も「為替の安定は重要であり、急激な変動は望ましくない。為替市場の動向を注意深く見て、必要に応じて対応したい」と投機的な動きをけん制した。相場は一旦 107 円台に戻しているが、米雇用統計の発表後に再び円高に振れて荒れるようなことになれば、再び介入への警戒が高まることになりそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。